

【100周年企画】ポーラ美術館×品川女子学院 ～アート企画を学ぼう

実施日 2025.04.29

展覧会 カラーズ ― 色の秘密にせまる 印象派から現代アートへ

会場 [ポーラ美術館](#)

企画 Artry!

参加者 Artry!メンバー
計14名 2年5名、4年3名、5年2名、6年4名



◇この企画の成立まで

本校の創立100周年記念として、公益財団法人ポーラ美術振興財団理事長鈴木郷史さまのご厚意で、箱根にあるポーラ美術館よりご招待いただけることになりました。

広い世代の女性の心身の美を追求しているポーラと女性のライフデザイン教育をしている本校の理念が合うことで30年近くの交流があり、文化祭の発表や起業体験、CBLなどでお世話になっています。

6年生は在校生としては最後の思い出として、5年生以下は6年生の思いを引き継いで今後の活動に活かすための学習の場として、今回はArtry!メンバーだけで行くことにしました。

◇企画内容

美術館のみなさまに自分たちが取り組みたいことを伝えるため、企画書を作成しました。その初めに書かれた目的は、次のとおりです。

企画の目的

アートに関するイベントを開催する際のコツを学ぶ。

- ・各自がアートを通じて得た楽しさを共有する手段を学ぶ。
- ・「アート」という価値が比較的不確定なものに興味を持って参加してもらえる工夫を学ぶ。
- ・美術館の特色を生かした企画の立て方を学ぶ。
- ・今後もさらにアートに親しむ機会に活かす。

そのため、学芸員の方に直接お話を伺ったり、美術館に関する質問をしたりする時間を設けることを企画したところ、複数のスタッフのみなさまにご対応いただけることとなりました。

また、展覧会をどのように見て回るかについては、昨年度の横浜トリエンナーレ鑑賞の際に武蔵野美術大学の杉浦幸子先生にご提案いただいた方法がおもしろかったため、今回も同様にすることにしました。

◇当日の様子

全員で集まるのは当日が初めてだったため、講堂前で簡単に自己紹介。

そしてバスでのレクリエーションもアート関連。

ポーラ美術館から事前にカタログを2冊お送りいただき、そこから作タグをつけてみたり、係が考えたりと、楽しく学びながら向かいました。



クイズに出てきたとおり、建物の大部分は地下にあり、木々の間を潜ってエントランスに向かいました。





まずホールにご案内いただき、美術館についてご説明いただきました。

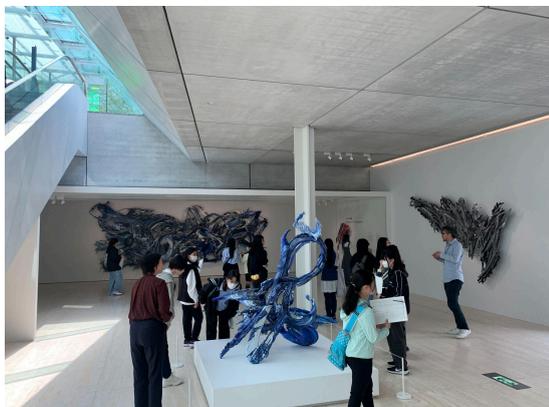


立地を活かした展示について理解した後、遊歩道をご案内いただきました。

自然と一体となった展示について事前に学習しており、実際にその場で鑑賞することでそれを実感しながら楽しみました。

作品をじっくり見た後で作品タイトルを知るおもしろさもよくわかりました。

ロニ・ホーン《鳥葬(箱根)》の前で



そして展覧会会場へ。まずは個人で周りました。バスレクで鑑賞した作品を実際に見るとまた違って見えました。

山口歴《PROMINENCE NO.1》2021-2022年 夢工房の前で



2周目は縦割り班で周り、各自のお気に入りの作品を紹介し合いました。
話し合っって班のベストの作品を決めます。



草間彌生《無限の鏡の間—求道の輝く宇宙の永遠の無限の光》2020年 の部屋の中で



3グループそれぞれのお気に入り聞き合うことで、さまざまな楽しみ方を共有しました。
6年生よりお願いしたところ、理事長鈴木郷史さまのお気に入りも伺うことができました。



最後は質疑応答。
生徒たちの質問に美術館のみなさまが丁寧にご回答くださいました。
ミュージアムショップは非日常の展示室から日常に戻る間にあるほっとできる場所で、帰ってからも買ったものを見て思い出して楽しんでいただきたい、というお話も伺い、それぞれお土産を買いました。

あっという間の3時間でした。

帰りのバスでは学んだことや今後取り組みたいことで話が尽きませんでした。

みんなで鑑賞した直後にこのような話し合いの時間が持てるのはとても有意義で、貸切バスのお蔭で実現したことでした。

今後はポーラ美術館にも恩返しできるような企画を実現したいと話しました。

在校生・在校生のご家族・受験生・受験生のご家族を対象にした、オープンキャンパス・文化祭・特別講座などの企画にも引き続き取り組んでいきます。

◇Artry!メンバー(6年生)からのひとこと

初めてポーラ美術館を訪れるメンバーが多く、新鮮な気持ちで足を運びました。

豊かな大自然に囲まれた美術館は、日常とはまるで違う雰囲気でも心地よかったです。

館内はアートが最大限に映えるように設計されており、特に「光」へのこだわりには驚きました。

作品が描かれた当時の自然光や、ヨーロッパの美術館の光に近づける工夫がなされていると聞き、深く感動しました。

グループで「イチオシの作品」を決める時は、どの作品にも心を動かされ、選ぶのが本当に難しかったです。

今回の訪問を通して多くの発見があり、新たに「やってみたい」と思うこともたくさん見つかりました。

最後には高校3年生なので「受験が終わったら、また来よう」と約束し、また訪れたいと思える素敵な時間になりました。

【Artry!のあゆみ】

2022年3月 特別講座「武蔵野美術大学のデザイン思考を体験」 協力:武蔵野美術大学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科

<https://www.shinagawajoshigakuin.jp/blog/18327/>

2022年度 上記の特別講座に参加した井上和さん(5年)が、「美術をより沢山のの人に楽しんでもらい、好きになってもらう」をテーマに、個人探究に取り組む

2023年8月 特別講座「現代アートを楽しもう」 協力:寺田倉庫株式会社 主催:井上和(6年)

<https://www.shinagawajoshigakuin.jp/blog/33204/>

2023年12月 教科イチ押し見学会 WHAT MUSEUM 協力:寺田倉庫株式会社、井上和(6年)

<https://www.shinagawajoshigakuin.jp/blog/37683/>

2024年3月 特別講座「美術企画を考えよう！」 協力:武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科
主催:井上和(6年)

※井上和さんが卒業にあたり、引き継いでくれる後輩を募集して実施した企画。

2024年5月 特別講座「はじめてのアート～思考から体験まで、楽しもうじゃないか挑戦者たち～」横浜トリエンナーレ鑑賞会 協力:武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科、井上和(OG)

主催:Artry!

※井上和さんから引き継いだ生徒(5年生5人)が、グループ名をArtry!に決定。

<https://www.shinagawajoshigakuin.jp/blog/42701/>

2024年6月 特別講座「はじめてのアート～新たな美術の世界を体験しようじゃないか挑戦者たち～」 協力:講師:武蔵野美術大学クリエイティブイノベーション学科1年高谷隼聖様 チューター:武蔵野美術大学クリエイティブイノベーション学科1年の井上和さん(OG)・比嘉辰大さん・大嶋花糸さん・高橋晴夏さん・櫻井陸人さん 主催:Artry!

https://www.netty.ne.jp/contents/wp-content/uploads/2024/09/Netty2409_Web.pdf

2024年9月 文化祭起業体験参加

2024年10月 塾の私立学校体験イベント参加

<https://www.shinagawajoshigakuin.jp/blog/47216/>

2024年11月 オープンキャンパス参加

2025年2月 エスパスルイ・ヴィトン特別講座

<https://www.shinagawajoshigakuin.jp/blog/49873/>